

学びのネットワーク 市民講師によるサロン塾

「人材バンク推進委員の会と」市民大学との共同企画

第2回

体の中を覗いてみよ

講師 山田 祥三氏

(富士見市市民人材バンク登録者)

報告者：加藤久美子

日時 10月23日(月) 13:30～15:30
会場 鶴瀬公民館第3集会室
テーマ 体の中を覗いてみよう
講師 山田 祥三氏
受講生 11名



講義概要

1. 脳の仕組み

講師 山田 祥三氏

脳の各部位をスクリーン上で示しながら分かり易い説明を加えてもらいました。

- ① 各部位の名称と機能
- ② 神経について 坐骨神経 椎間板ヘルニア、狭窄症
パーキンソン病(ドパミンが原因)

山中教授が研究しているIPS細胞の実用化に向けて将来は可能性がある。

2. 脳の血管の名称と役割

3. 脳卒中について

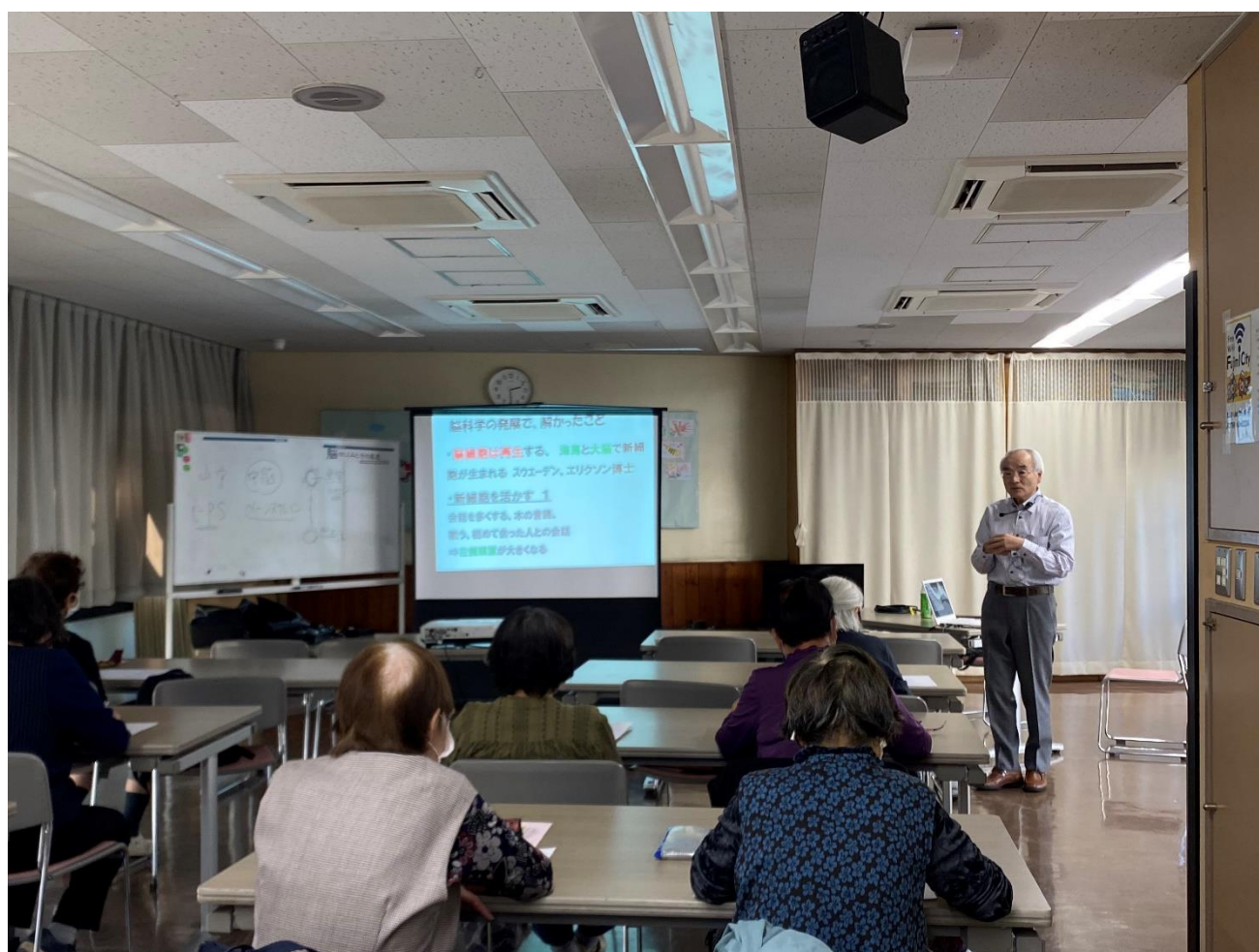
2022年の死亡率中脳血管疾患が第4位 6.8%

脳梗塞、脳出血、くも膜下出血ほかのそれぞれの特徴と治療法

4. 「脳梗塞」について基礎から知ろう

- ① 動脈硬化が原因
- ② 心房細動が原因 アテローム梗塞、心原性梗塞
- ③ 早期発見「FAST」
 - F a c e 顔の片側が下がる、歪む
 - A r m 片腕に力が入らない
 - Speech 言葉が出てこない、呂律が回らない
 - T i m e 早く

- 治療1 静脈療法 血栓溶解剤 脳血管内疾患・・・4～5時間以内に投与
- 治療2 カテーテル治療（図解説明あり）



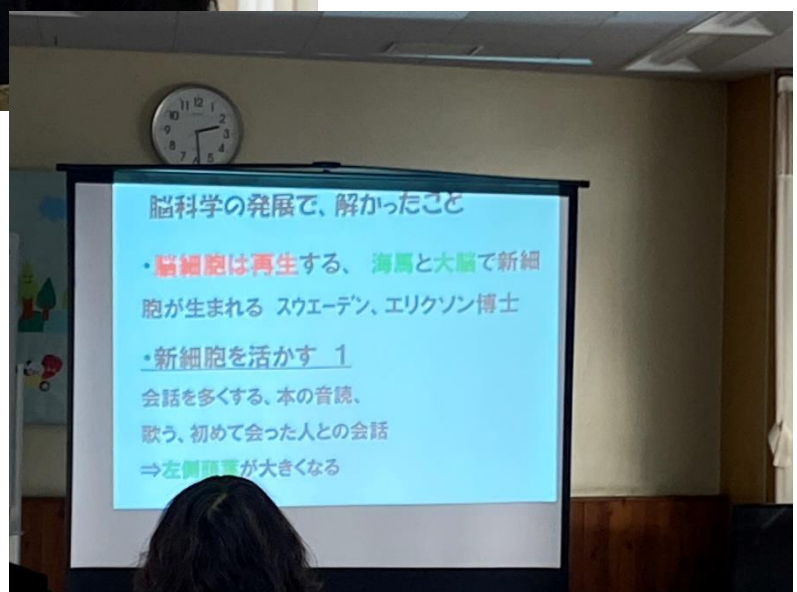
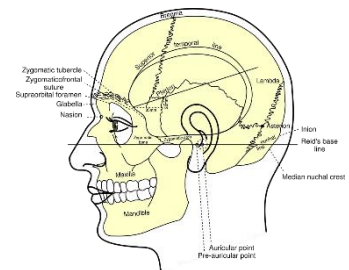
5. 脳出血の予防について

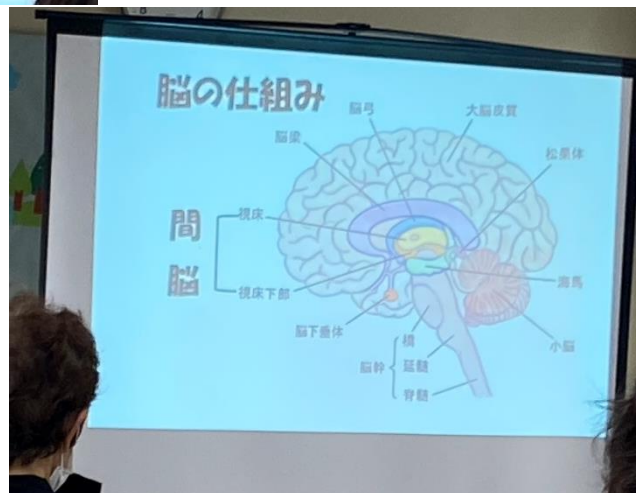
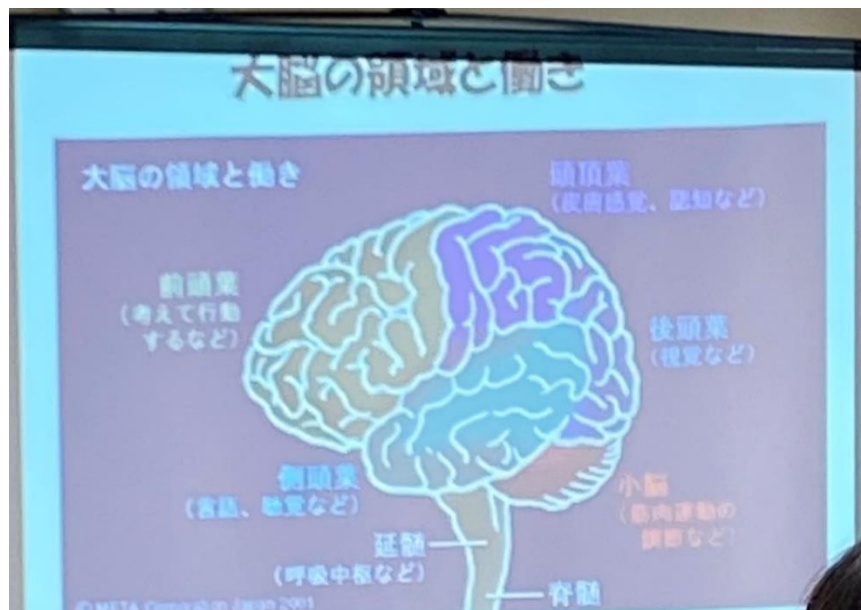
原因は生活習慣にある 食べ過ぎ、運動不足、塩分の取り過ぎ、多量の飲酒
→高血圧→大動脈解離

2通りの動脈瘤治療法の紹介

質疑応答

- ・脳出血後の改善について、山中教授の研究しているIPS細胞治療での改善は 後日、山田先生より今のところ難しいと返事をいただいた
- ・受講生の脳疾患への関心は高く、予防、早期発見と治療についての知識はあるが生活習慣の改善が難しい（アンケートより）





富士見市民大学 講演資料

市民講師によるサロン塾

2023.10.23 山田祥三

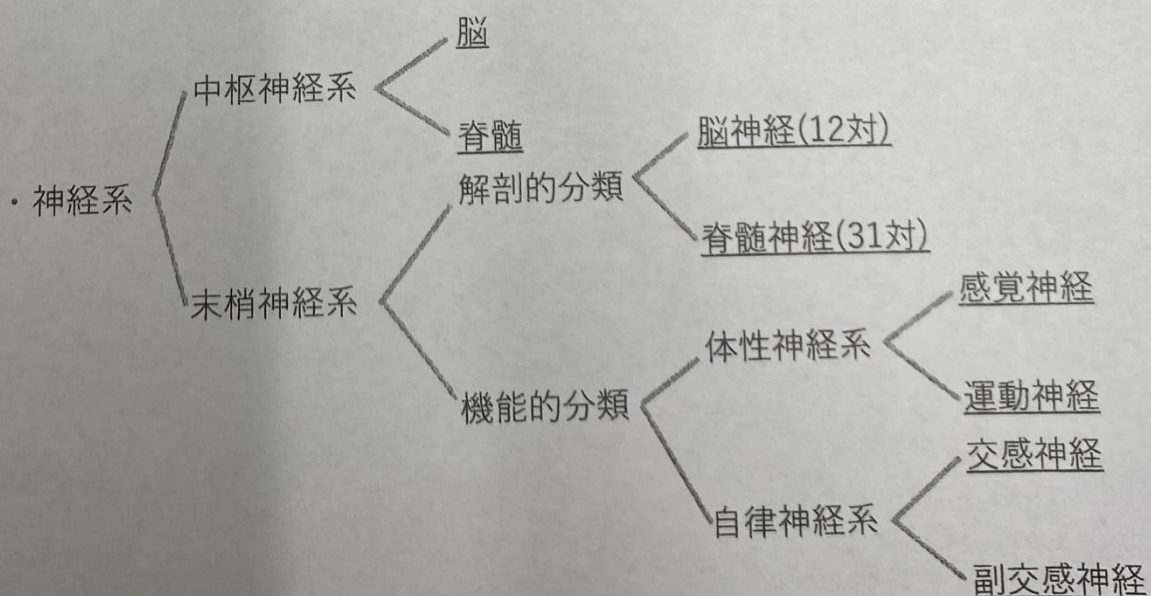
体の中を覗いてみよう

『脳の仕組みと、その主な疾患について！』

1. 脳と脊髄

- ・ 脳は、1000個の神経細胞がネットワークを作る
 - 脳は頭蓋骨で守られている
 - 1日、4000Kcal(20%)の酸素を消費する
 - 脳の栄養素は、ブドウ糖のみ
 - 脳と脊髄は脳脊髄液で守られている
- ・ 脊髄は脊柱に守られ、神経根を全身に出している
 - 全ての抹消神経は、脊髄を経由して脳に直結している
 - 血液は、骨髓で作られている
 - 大脳における、痛みの認識の経路

2. 神経系の全体図



脳科学 ・ 脳細胞は新細胞を再生する(スウェーデン、エリックソン博士)

・ 新細胞を活かすと、左側頭葉が大きくなる

3. 脳卒中について

脳卒中は、死亡原因の3番目である

血管が、詰まれば脳梗塞、破れれば脳出血

脳の血管系、ウィリスリングで保護している

脳を保護している、3つの膜

脳卒中は、高血圧が原因となることが最も多い

・ 脳梗塞

軽い順に、ラクナ梗塞、アテローム梗塞、心原性脳梗塞

急性期脳梗塞は、出来るだけ早く病院に運ぶ

CTで場所を探し、MRIで大きさを見る

4,5時間以内に、t PAを投与する

発症から、8時間以上はカテーテル治療になる

・ 脳内出血

出血場所は、被殻・外包が多く半分を占める

血腫は、開頭手術か内視鏡手術で除去する

・ クモ膜下出血

動脈瘤(先天的が多い)が破裂して起こる

7 mm以下は経過見で、7 mm以上は治療対象、

クモ膜下出血の治療は、開頭でクリッピング術かコイル塞栓術

以